

Windows10 対応の IBM i 向け端末エミュレータ 「TCPLink 日本語 5250 エミュレータ」新バージョンを販売開始 ～IBM 社製エミュレータのプリンター定義ファイルが利用可能になり印刷機能を強化～

キヤノンマーケティングジャパングループのキヤノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：足立 正親、以下キヤノン ITS）は、Windows 10 対応の IBM i 向け端末エミュレータ「TCPLink（ティーシーピーリンク）日本語 5250 エミュレータ」の新バージョンを、7 月 17 日より販売開始します。

メインフレームは、その堅牢性から企業の基幹業務システムで広く使用されており、システムに高い信頼性・安定性が求められる金融、製造、流通の各業界では、今後も継続的な利用が見込まれています。また、2020 年 1 月の「Windows 7」サポート終了に向けて、端末エミュレータにおいても「Windows 10」対応製品へのスムーズな移行と、移行後も従来どおりに業務を行える機能が求められています。

「TCPLink」シリーズは、キヤノン ITS が開発・販売を行う端末エミュレータ製品で、IBM・富士通・日立・NEC 各社メインフレーム向けのオンライン端末機能を実現します。

このたび販売を開始する IBM i 向け端末エミュレータ「TCPLink 日本語 5250 エミュレータ」新バージョンでは、IBM 社製エミュレータの標準機能であるプリンター定義ファイル（Printer Definition File: PDF）を利用した印刷に対応しました。IBM 55xx、ESC/P*の各スプール印刷で新たにプリンター定義ファイルも利用でき、大容量の印刷時にメインフレームの負荷が軽減されます。また、本製品は Windows プリンタードライバを利用した GDI 印刷にも対応しており、使用するプリンターごとにフォント指定などの制御設定することなく印刷することも可能です。定型フォーマットでの帳票出力など、印刷業務がある企業にとって端末エミュレータ買い替えの際にもスムーズな移行を実現します。

キヤノン ITS は、端末エミュレータ「TCPLink」シリーズの最新 OS への対応やメーカー純正エミュレータとの互換性強化によって、メインフレームとそのシステム資産の継続的な活用をサポートします。今後も、端末エミュレータの導入提案、きめ細かいカスタマイズ対応の 25 年以上におよぶ実績を活かし、お客様の課題解決とさらなる業務改善を支援していきます。

*それぞれ IBM 社、セイコーエプソン社が開発した、ドットインパクトプリンターに印刷を指示するための制御コード体系。

< 「TCPLink 日本語 5250 エミュレータ」新バージョンの特長 >

IBM i 向けプリンター定義ファイルの互換性を強化

PCF ファイル（「TCPLink 日本語 5250 エミュレータ」独自の印刷コマンドファイル）、または IBM PDF ファイルに記述された定義内容に従い、プリンター制御コードをプリンターへ出力します。

ダイレクト印刷、ローカルコピーの印刷に、プリンター定義ファイルを利用できます。

Windows 10 大型アップデートに対応

Windows 10 April 2018 Update（バージョン 1803）に対応しています。

■ 製品価格

製品名	標準価格（税別）	発売日
TCPLink 日本語 5250 エミュレータ	¥52,000-	2018 年 7 月 17 日

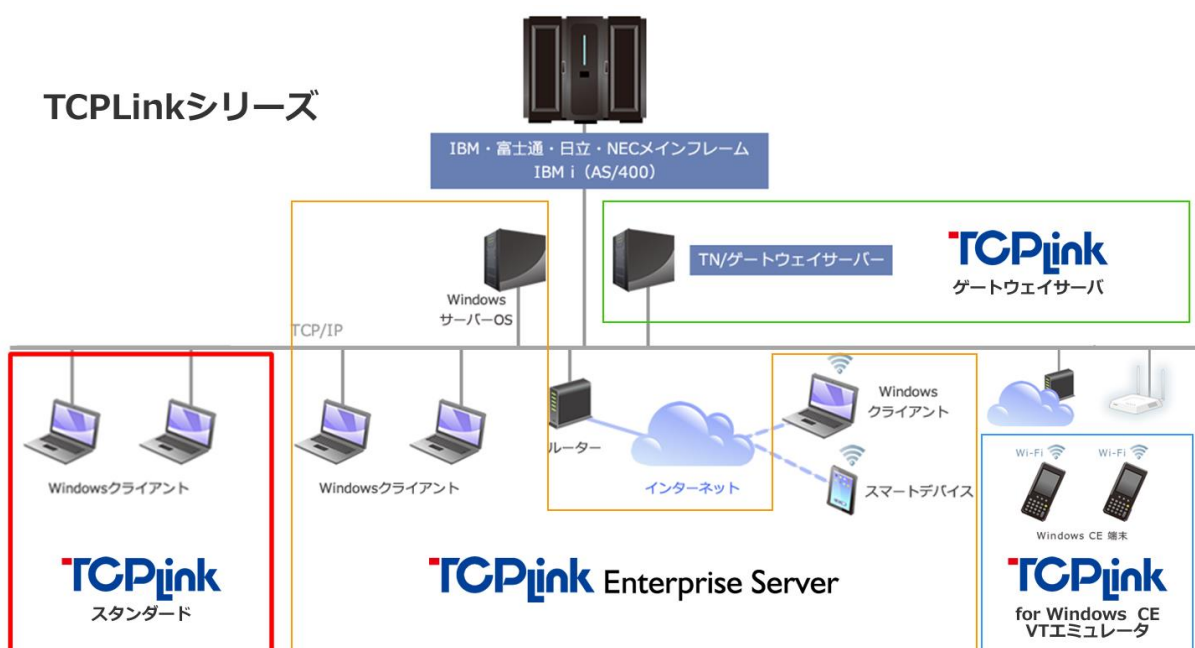
- 報道関係者のお問い合わせ先 : 事業推進部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603
- 一般の方のお問い合わせ先 : 通信コミュニケーションソリューション本部 03-6701-3577
- TCPLink ホームページ : https://www.canon-its.co.jp/products/tcp_st/

■「TCPLink」シリーズについて

キヤノン ITS が 1992 年より販売する「TCPLink」シリーズは、累計 150 万ライセンス以上の導入実績を持つ、サードパーティ製品市場シェア No.1 (※) の端末エミュレータです。クライアント型製品の「TCPLink スタンダード」と、サーバー型の「TCPLink Enterprise Server」を中心に、お客さまのさまざまな要望にお応えしています。「TCPLink 日本語 5250 エミュレータ」は「TCPLink スタンダード」の IBM i 向け製品です。

(※)「端末エミュレーター市場占有率推移(金額)2016 年度実績」(メインフレームベンダー以外のサードパーティ製品が対象)、『ソフトウェアビジネス新市場 2017 年版』富士キメラ総研、2017 年

<システム概要図>



<TCPLink スタンダードの特長>

- 各社メインフレームに対応
IBM、富士通、日立、NEC メインフレーム、および IBM i に対応しています。
- 純正エミュレータとの高い互換性
ディスプレイセッション、プリンタセッション、ファイル転送機能、データ転送機能(5250)、ローカル画面(ETOS)などオンライン端末として必要な基本機能を備えており、GDI印刷にも対応しています。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。